

## 4 . 環境保全計画のこれまでの実績と今後の計画

### 4 - 1 新日鐵住金(株) 棒線事業部室蘭製鐵所・北海製鐵(株)

当社は、有害大気汚染物質のベンゼン削減に向けた取り組みを推進すると共に、ニッケルやマンガンの調査も進めています。

また、地域住民の方々の工場見学等を積極的に実施し、また環境・社会報告書等を通じて積極的に情報の公開を進めています。

#### 1 . 製鐵所構内周辺濃度の測定実績

##### (1) ベンゼン

新日鐵住金(株)及び北海製鐵(株)では、ベンゼンの自主管理計画が平成 15 年度に終了しましたが、その後もベンゼン削減に向けた取り組みを推進して参りました。

平成 28 年度実績はベンゼン排出量を 15t/年レベルまで削減し、平成 29 年度はコークス生産量が下がった影響で 13t/年レベルまで減少致しました。

しかし、当所に近接した輪西地区測定局の環境測定結果は、環境基準( $3\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下)を達成したものの高位であるため、影響を与える一事業者として、引き続き削減に向けた取り組みを推進しております。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
ベンゼン排出量 (t/年)	15.2	14.7	14.6	14.9	14.9	15.0	13.1
ベンゼン濃度 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	1.8	1.3	1.0	1.3	1.7	1.8	3.0

##### (2) ニッケル及びその化合物

当所に近接した輪西地区測定局のニッケル測定結果は、平成 25 年から上昇しましたが、環境指針値( $25\text{ng}/\text{m}^3$  以下)を達成しています。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
ニッケル濃度 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	5.8	2.9	9.3	10.6	6.0	4.9	6.1

##### (3) マンガン及びその化合物

当所に近接した輪西地区測定局のマンガン測定結果は、平成 23 年以降、環境指針値 ( $140\text{ng}/\text{m}^3$  以下)を達成して参りましたが、平成 29 年度は超過しています。

影響を与える一事業者として、排出源及び排出原因の特定のため、移動式分析機器を導入し、平成 30 年度より運用を開始しております。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
マンガン濃度 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	136	118	95	120	140	99	160

## 2. 実施した対策等

### (1) ベンゼン排出削減対策

第5 コークス炉東炉改修工事の実施  
工事期間 平成 21 年 7 月～平成 23 年 11 月  
(設備稼働 平成 23 年 11 月～)

安水・タール処理施設の排ガス吸引管増設  
安水・タール処理施設からの大気放出量を削減するため、既存設備の排ガス吸引系統に接続する改善を行っています。  
(設備稼働 平成 22 年 3 月～)



第5 コークス炉東炉改修後

第5 コークス炉西炉改修工事の実施  
工事期間 平成 30 年 4 月～平成 31 年 8 月  
(設備稼働 平成 31 年 9 月予定)

### (2) 粉じん抑制対策

道路清掃の充実と道路散水による飛散防止 (継続実施中)



ロードスイーパー 3台保有



散水車 5台保有  
(内1台を平成31年更新予定)

コークスヤード防風(減風)ネット設置 (平成 25 年 4 月～)



高さ 13m (腰壁 2m)



全長 230m (100m + 30m + 100m)

石炭ヤード填圧作業の実施 (平成 25 年 10 月 ~)



排滓小屋更新 + スラグ冷却場拡大



排滓小屋(平成 29 年 5 月 ~)



スラグ冷却場(平成 29 年 3 月 ~)

### 3. その他

#### (1) 工場見学の実施

平成 29 年度は小・中・高校等の学生を含む 123 団体、4,384 名の見学者に来所を戴きました。

また、毎年、製鐵所近隣町会の方々を招き、製鐵所の環境対策、地域貢献活動の紹介及び工場見学会等を実施し、意見交換等を行っています。



近隣町会の方々との意見交換会

#### (2) 訓練実施による環境影響低減

製鐵所内の各工場では、環境事故低減に向けた訓練を定期的実施しています。



排水訓練

海域へのオイルフェンス展張訓練

(3) 環境・社会報告書発行による情報公開

環境・社会報告書を年1回発行し、環境情報の開示に努めています。



環境・社会報告書 2018

( <http://www.nssmc.com/csr/report/index.html> )

#### 4. 平成30年度以降の計画

(1) 有害大気汚染物質の大気排出量等の把握

「PRTR法」に基づく(社)日本鉄鋼連盟が策定した、「鉄連PRTRマニュアル」を用いて有害大気汚染物質の大気への排出量を把握します。

(2) 事業所敷地境界の有害大気汚染物質濃度を継続調査し、改善策を検討します。

- ・ベンゼン濃度測定 : 2ヶ所・毎月1回
- ・ニッケル・マンガン : 1ヶ所・毎月1回

(3) 設備の保守管理・補修を適切に推進し、ベンゼン等の有害大気汚染物質排出量の低減を図ります。